

---

*PT200e/PT408e/PT412e*  
**プリンタドライバ説明書**

---

# 目 次

はじめに.....	1
1. プリンタドライバ.....	2
1.1. プリンタドライバについて.....	2
1.2. バージョン表示.....	6
1.3. 用紙.....	7
1.4. 動作モード.....	11
1.5. デバイスの設定.....	12
1.6. クリエイトフォント.....	13
1.7. ユーティリティ.....	18
1.8. TrueType フォント.....	19
1.9. サトー専用ポートの追加設定手順.....	21
1.9.1. サトー専用ポートの追加手順.....	21
1.9.2. サトー専用ポート設定手順.....	24
2. インストーラ／アンインストーラ起動手順.....	27
2.1. プリンタメニュー画面.....	27
2.2. プリンタドライバ画面.....	28
2.3. プリンタドライバのインストール方法選択画面.....	29
3. インストール手順.....	30
3.1. プリンタドライバ インストール画面.....	30
3.2. 接続先ポート選択画面.....	32
3.3. ポート選択画面.....	33
3.3.1. シリアルポート選択画面.....	33
3.3.2. SATO COM ポート選択画面.....	33
3.3.3. SATO LAN ポート登録画面.....	34
3.3.4. SATO USB ポート登録画面.....	35
3.4. インストールの終了画面.....	36
3.5. 特殊設定画面.....	37
4. アンインストール手順.....	38
4.1. アンインストール画面.....	38
4.2. アンインストール プリンタ選択画面.....	39
4.3. アンインストール 終了画面.....	40
5. 注意事項.....	41
5.1. インストール起動手時のエラーメッセージ.....	41
5.2. アンインストール時のポート共有メッセージ.....	42

## はじめに

本書では以下に示す機種のパリンタドライバに関して説明しております。

- ・PT200 シリーズ : PT200e / 208e / 208m / 208j
- ・PT400e シリーズ : PT408e / PT412e

プリンタドライバは、x86 版(32bit OS 用)と x64 版(64bit OS 用)がございます。

動作対象 OS は以下となります。

32bit OS : Windows XP / Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10  
Windows Server 2003 / 2008

64bit OS : Windows 7 / 8 / 8.1 / 10  
Windows Server 2008 / 2008 R2 / 2012 / 2012 R2 / 2016 / 2019

※ ARM 版 Windows は動作対象外となります。

※ x64 版のパリンタドライバでは USB インタフェースはご使用になれません。

本書では主に Windows 7 上における PT408e 用プリンタドライバの画面を使用しています。そのため、実際にお使いになる OS、機種によっては、画面構成が異なる場合がありますのでご了承ください。

## 1. プリンタドライバ

### 1.1. プリンタドライバについて

PT408e のプリンタドライバは、「印刷設定(I)」として、独自に「プリンタ」、「用紙」、「動作モード」、「デバイスの設定」、「クリエイティブフォント」、「ユーティリティ」、「TrueType フォント」の7個のタブを所有しており、各タブにおいて様々な設定が可能です。

Windows 7 以降の OS で「印刷設定(G)」を設定するためには、Administrator 権限のあるユーザーにて行う必要があります。また、プリンタポートの設定を行う場合には、**共有オプションの変更**で行う必要があります。ポートの追加などの処理を行っても、エラー画面が表示され、反映されません。

指定の方法は、図 1.1.1~図 1.1.2 に示すように「プリンタ」フォルダの中にある、SATO PT408e プリンタを選択し、「プリンタのプロパティ(P)」⇒「共有」タブ選択⇒「共有オプションの変更(O)」と選択します。

Windows Vista で「印刷設定(I)」を設定するためには、**管理者権限**にて行う必要があります。管理者権限以外で設定値の変更、またはプリンタポートの追加などの処理を行っても、エラー画面が表示され、反映されません。指定の方法は、「プリンタ」フォルダの中にある、SATO PT408e プリンタを選択し、「ファイル(F)」⇒「管理者として実行(A)」⇒「プロパティ(R)」と選択するか、SATO PT408e 選択⇒右クリック⇒「管理者として実行(A)」⇒「プロパティ(R)」と選択します。

WindowsXP/Server2003/Server2008 で「印刷設定(I)」を設定するためには、図 1.1.3 に示すように「プリンタ」フォルダの中にある、SATO PT408e プリンタを選択し、「プリンタ(P)」⇒「プロパティ(R)」⇒「全般」タブの「印刷設定(I)」メニューを選択するか、右クリックして「印刷設定(I)」メニューを選択します。

**注意)**「印刷設定」で設定可能な項目には、「プリンタ設定ツール」で設定可能な項目と重複するものがありますが、プリンタドライバを使用して印字を行う場合は「印刷の設定」での指定が有効となります。またアプリケーションソフトの印刷ダイアログから呼び出すプロパティでは、一時的な設定変更を目的としており、機能も限定されています。

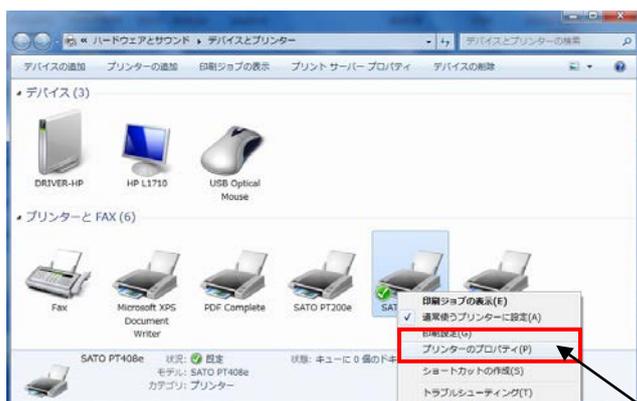


図 1.1.1. 「プリンタフォルダ」画面  
Windows 7 の場合

プリンタの名称はドライバセットアップ時に任意に設定できます。  
デフォルト指定では、PT200e は「SATO PT200e」、PT408e は「SATO PT408e」、PT412e は「SATO PT412e」となります。

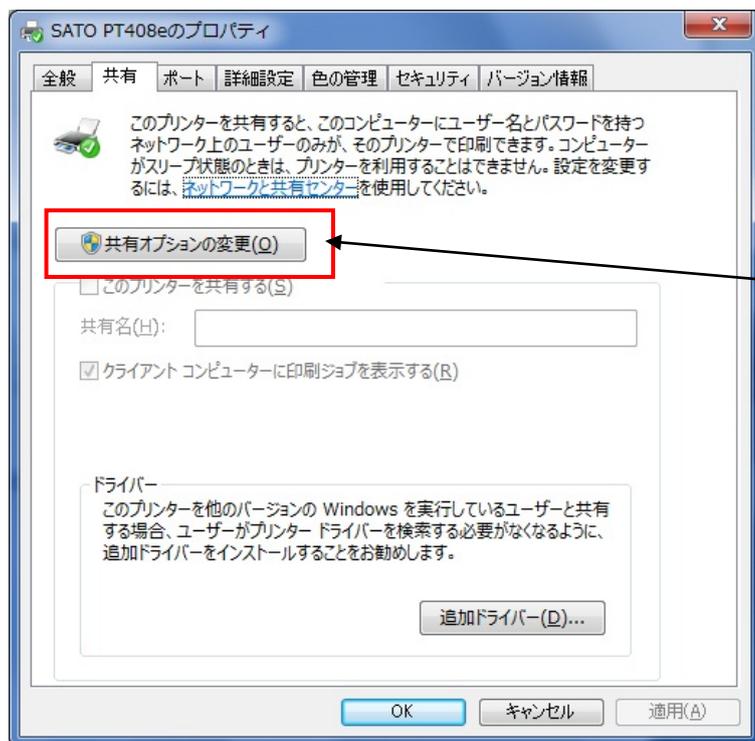


図 1.1.2. 「共有」プロパティ画面  
Windows 7 の場合

**※Windows 7 以降の OS での「プリンタのプロパティ」**  
Windows 7 以降の OS では、ポートに関する設定変更は全て**管理者権限**が必要です。管理者権限を取得するには、図 1.1.2 のように「共有」プロパティで「共有オプションの変更 (Q)」⇒「ポート」プロパティと選択します。「印刷設定」の項目については、一般ユーザーでも設定できます。  
※一部管理者権限がないと設定できない項目については、マスクがかかっています。



**※Windows XP/Server2003/Vista/Server2008 での「印刷設定」**

Windows 7 以外での印刷設定は、「SATO PT408e」を右クリックし、次に「印刷設定(E)」をクリックします。または、「SATO PT408e」を選択し、「プリンタ(P)」⇒「プロパティ(R)」⇒「全般」タブの「印刷設定(I)」から設定します。ただし、Windows Vista/Server2008 では、管理者権限を取得しないと設定できない項目もあります。

図 1.1.3. 「プリンタフォルダ」画面  
Windows XP/Server2003/Vista/Server2008 の場合

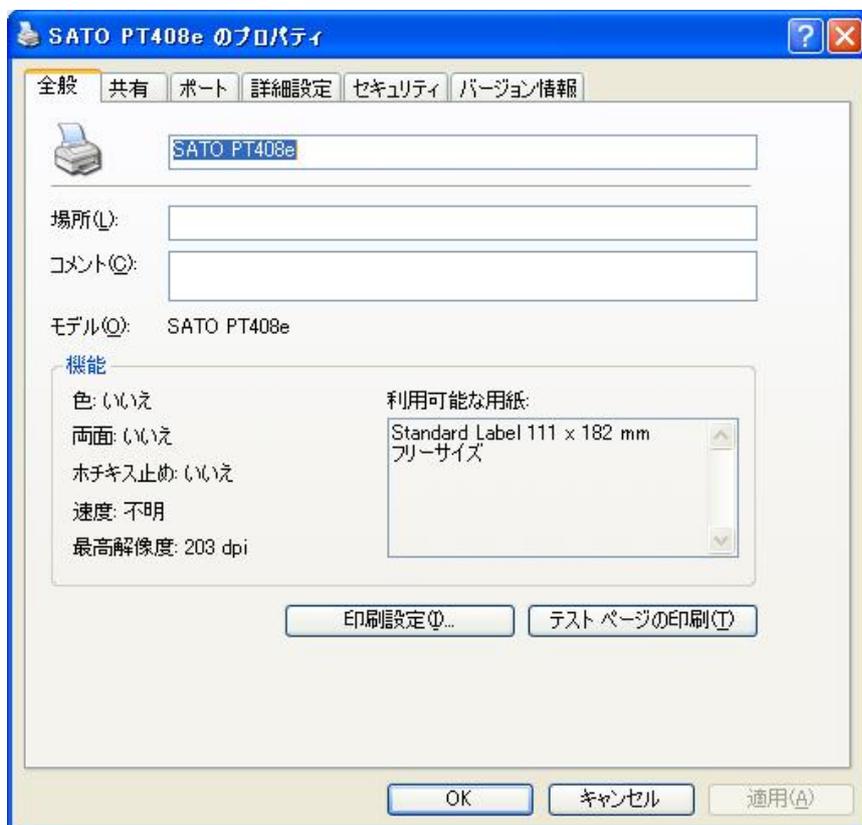


図 1.1.4. 「プロパティ」の「全般タブ」画面  
Windows XP/Server2003/Vista/Server2008 の場合



図 1.1.5. 「印刷設定」画面

Windows XP/Server2003/Vista/Server2008 の場合

- ※ Version の表示は、実際に表示した際に対応した Version が表示されますので、本マニュアルと異なるバージョンが表示されることがあります。
- ※ プチラパンならびに Windows x64 版プリンタドライバには、USB Port monitor はありません。

## 1.2. バージョン表示

「バージョン情報」タブをクリックすることで、プリンタドライバのバージョンを表示します。



図 1.2.1. 「バージョン情報」画面  
PT408e/412e の場合



図 1.2.2. 「バージョン情報」画面  
PT200e の場合

### 1.3. 用紙

図 1.3.1 に「用紙」画面を示します。ここでは使用する用紙に関する各種設定を行います。

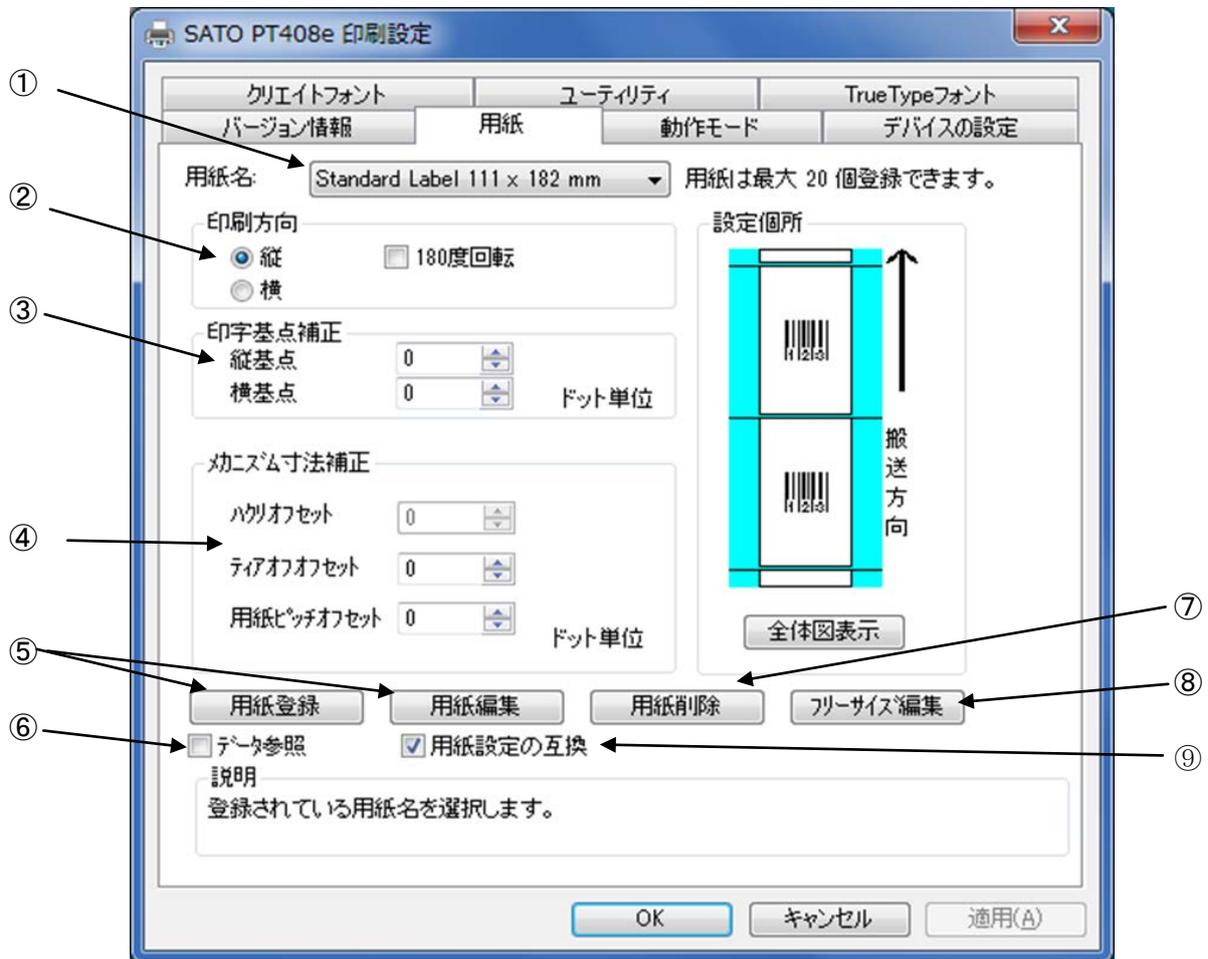


図 1.3.1 用紙画面

- ①使用する用紙を選択します。使用する用紙が登録されていない場合は⑤「用紙登録」により登録してください。
- ②用紙搬送方向に対する印刷方向を設定します。
- ③印字レイアウトの基点を補正します。通常は0です。
- ④各仕様のプリンタにおける、用紙搬送量を補正します。
- ⑤「用紙登録」ボタンをクリックすることにより、図 1.3.2 に示す「用紙登録」画面が表示されます。「用紙編集」をクリックした場合は選択された用紙の編集になります。
- ⑥チェックしておくことにより、「用紙登録」を選択した際の初期値に、「用紙名」に表示されている用紙の 設定値を適用します（フリーサイズの設定値は適用できません）。
- ⑦「用紙名」に表示されている登録済み用紙を削除します。
- ⑧「フリーサイズ」用紙の編集をします。図 1.3.3 に示す画面が表示されます。
- ⑨ON の場合：Ver9 までの用紙設定入力モードで、印字可能領域を任意に入力できます。  
OFF の場合：センサ種により、印字開始位置をラベル間ギャップサイズ分補正して、調整する入力モードになります。

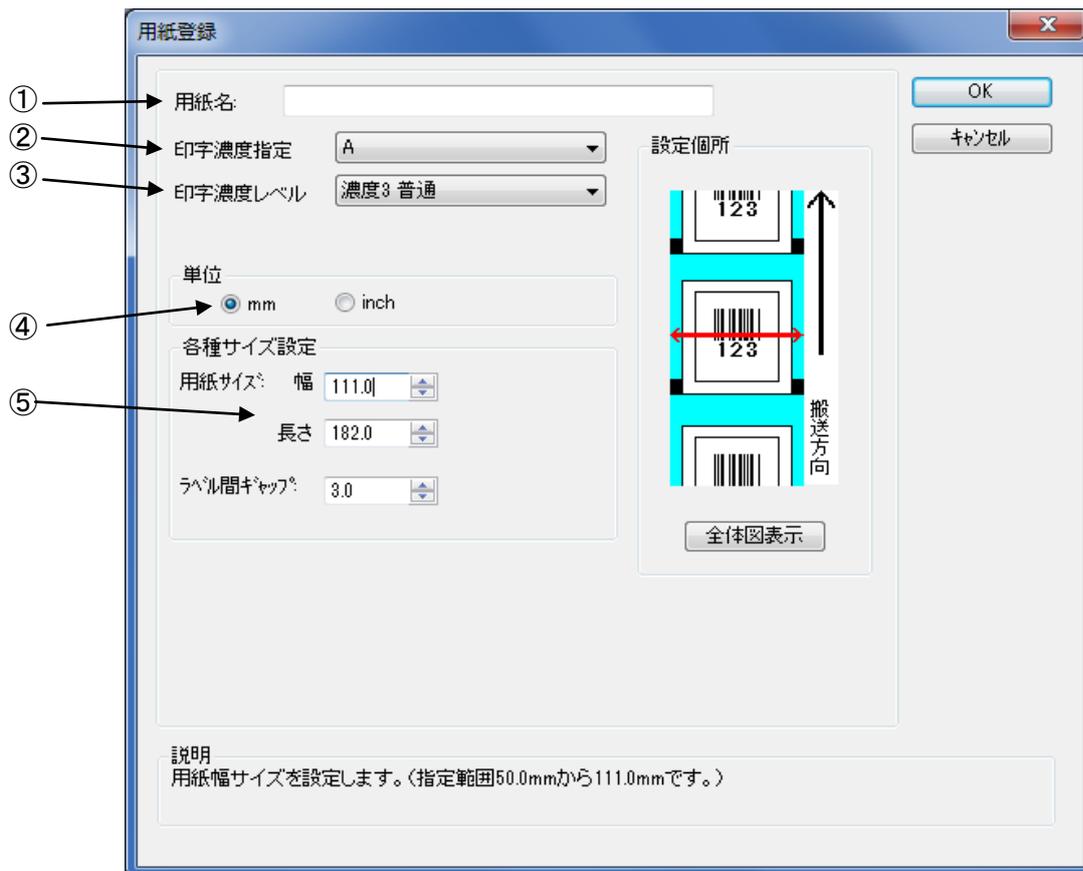


図 1.3.2 用紙登録画面

- ①登録する用紙の名称を設定します。
  - ②登録用紙の印字濃度の指定を行います。通常はAになります。
  - ③登録用紙の印字濃度レベルを指定します。通常は3になります。
  - ④登録用紙の単位を指定します。
  - ⑤登録する用紙サイズを指定します。
- ※用紙編集画面も同様の画面になります。

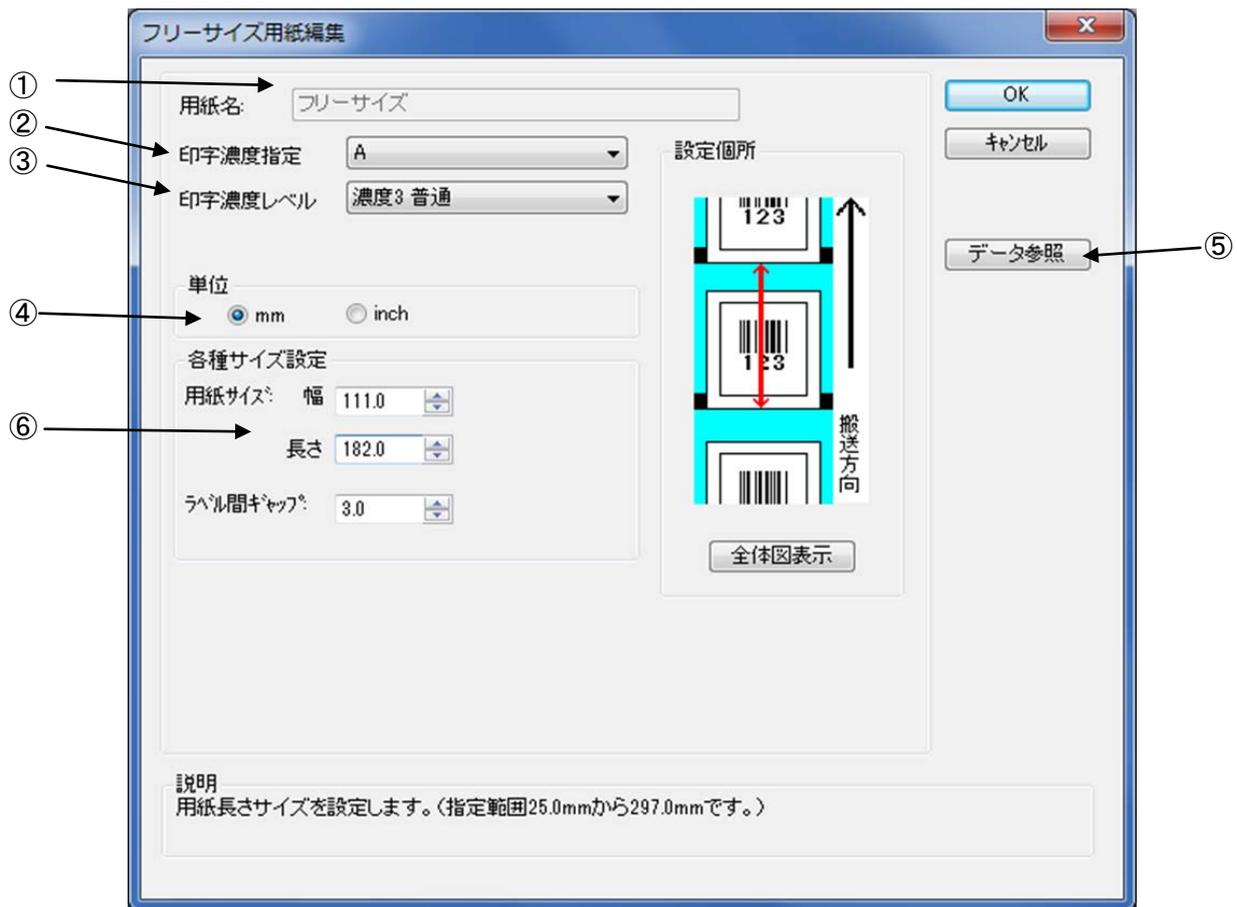


図 1.3.3 フリーサイズ設定画面

- ①編集する用紙の名称を設定します。(フリーサイズ固定になります)
- ②フリーサイズ用紙の印字濃度の指定を行います。通常はAになります。
- ③フリーサイズ用紙の印字濃度レベルを指定します。通常は3になります。
- ④フリーサイズ用紙の単位を指定します。
- ⑤各設定値を登録済みの用紙から参照します。クリックすることにより図 1.3.4 に示す画面が表示されます。
- ⑥フリーサイズ用紙の用紙サイズを指定します。

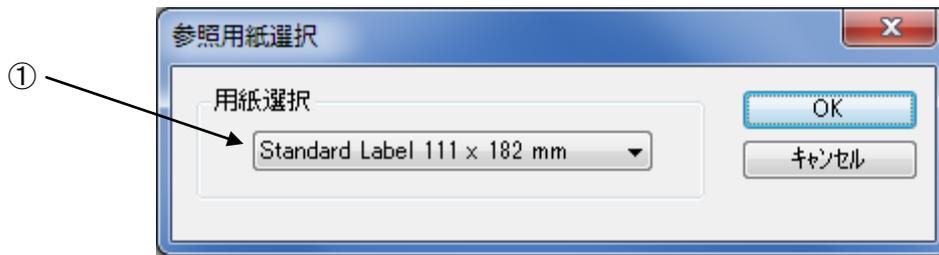


図 1.3.4 参照用紙選択画面

- ①参照する用紙を選択します。  
参照した用紙の設定で、フリーサイズの値が反映されます。

## 1.4. 動作モード

図 1.4.1 に「動作モード」画面を示します。ここでは以下の設定を行います。

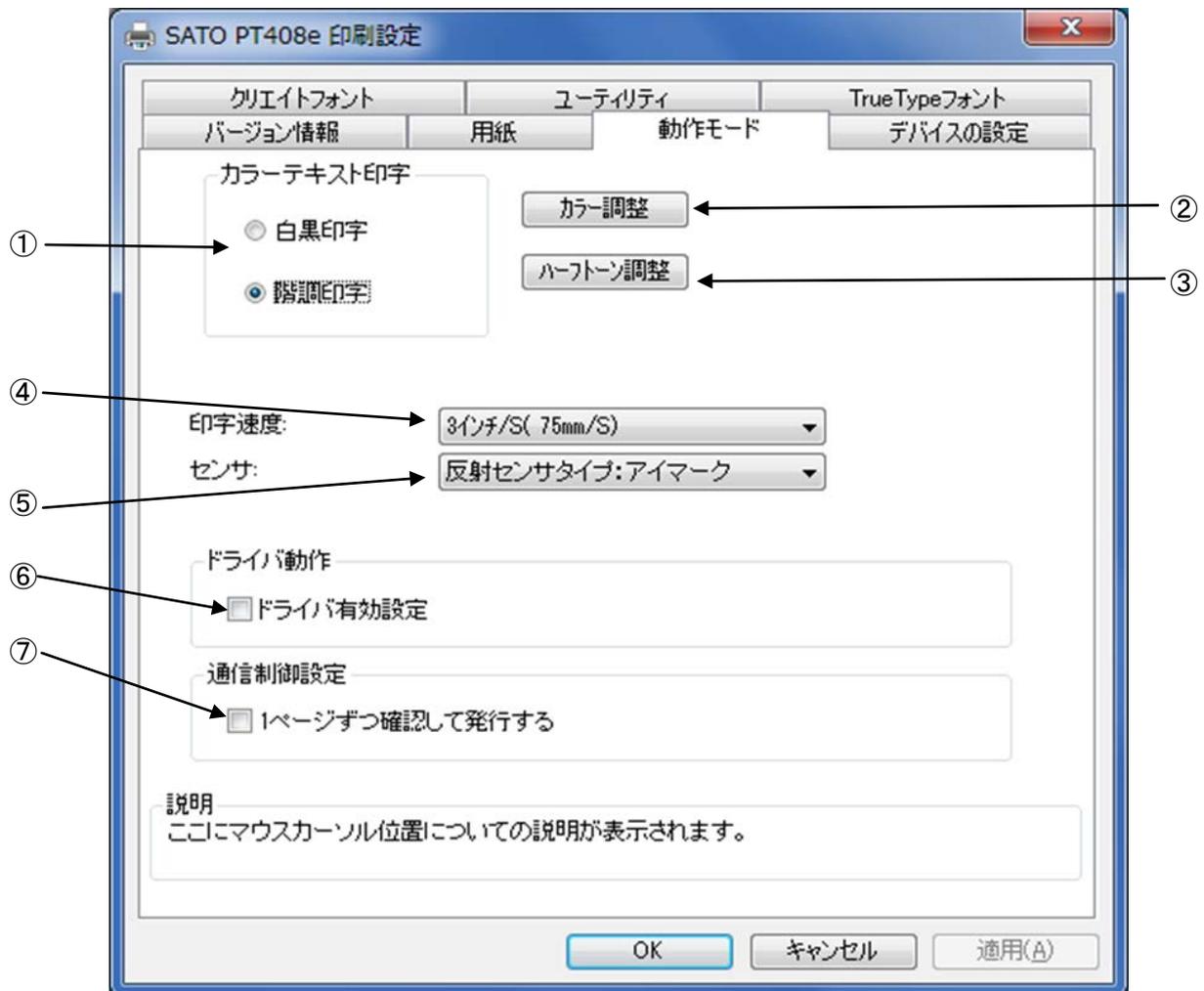


図 1.4.1 動作モード画面

- ① 文書中の文字列を指定されている色情報に関係無く黒色印字するか、色情報に応じて階調印字を行うかの設定になります。
  - ② モノクロのため、設定は無効となります。
  - ③ グラフィックデータをハーフトーン処理するパターンを指定します。
  - ④ 印字速度を選択します。90度回転のバーコードや罫線などの印字レイアウトや使用用紙種により、印字速度・濃度の調整が必要になります。
  - ⑤ センサ種別の指定を行います。
  - ⑥ アプリケーションからの設定を無効にするモードになります。
  - ⑦ チェックボックスにチェックすることで1ページずつ確認して発行します。
- ※⑦の項目は、管理者権限が有効の場合に設定が可能です。

## 1.5. デバイスの設定

図 1.5.1 に「デバイスの設定」画面を示します。ここでは以下の設定を行います。

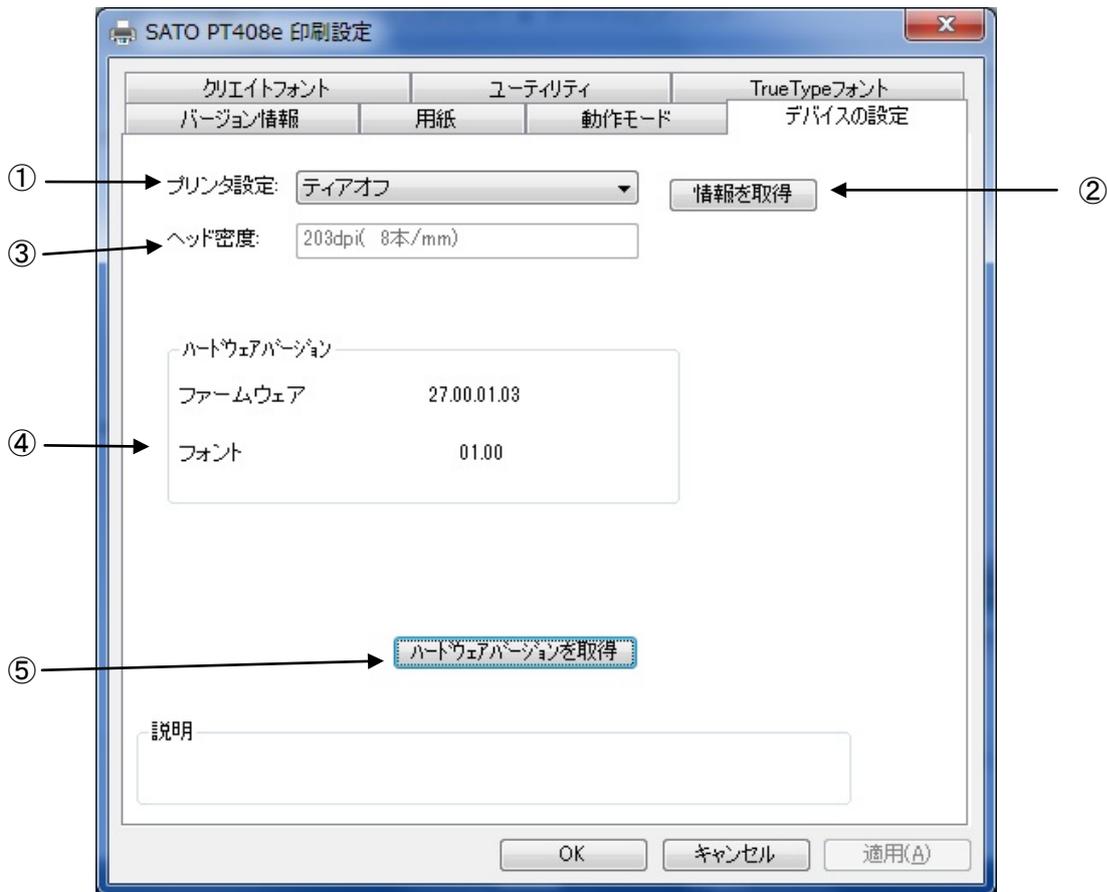


図 1.5.1. デバイスの設定画面

- ①プリンタ設定（動作モード）を設定します。
- ②プリンタ設定とヘッド密度を取得します。
- ③プリンタから取得したヘッド密度の表示を行います。（解像度が1種類しかない機種については、解像度は変わりません。）
- ④ファームウェアのバージョンを表示します。
- ⑤ファームウェアのバージョン取得を行います。

### [補足説明]

プリンタ名を変更した場合、1度印刷を行わないと情報取得が正常に行われません。

## 1.6. クリエイトフォント

ここでは「装飾フォント」と「バーコードフォント」の設定をおこないます。

「装飾フォント」とは、レジデントフォントに対して倍率や回転角度、連番機能等を任意に設定し、それらの設定を反映させた状態のフォントを1つのフォントとして登録したものです。アプリケーションソフトの書類上にデータを入力し、そのデータのフォントを装飾フォントにすることにより、印字結果には倍率や回転角度、連番などの設定が反映されます（アプリケーションソフトの編集画面上には反映されません）。「バーコードフォント」とは、アプリケーションソフトの書類上に入力したデータのフォントをバーコードフォントにすることにより、印字の際にはそのデータがバーコード化されるというものです。

装飾フォントとバーコードフォントは合計 70 個まで登録可能です。

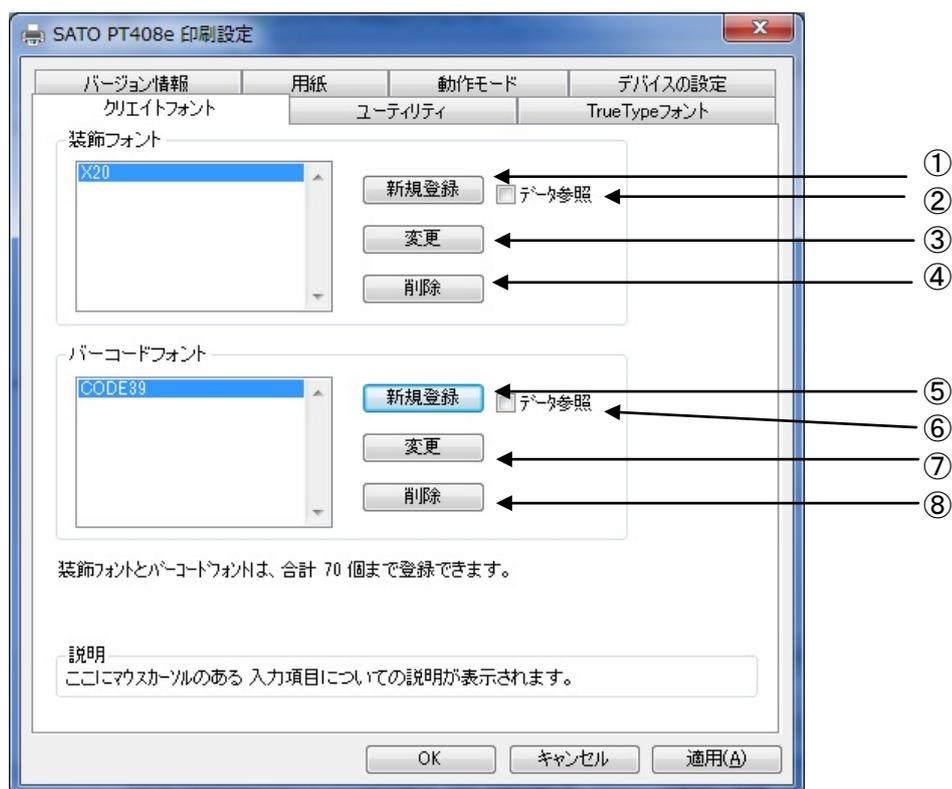


図 1.6.1 クリエイトフォント設定画面

- ①装飾フォントを新規登録します。クリックすることにより図 1.6.2 装飾フォント登録画面が表示されます。
- ②チェックしておくことにより、「新規登録」を選択した際の初期値に、登録済み装飾フォントのデータを適用できます。
- ③登録済み装飾フォントの設定を変更できます。クリックすることにより図 1.6.2 装飾フォント登録画面が表示されます。
- ④登録済み装飾フォントを削除します。
- ⑤バーコードフォントを新規登録します。クリックすることにより図 1.6.3 バーコードフォント登録画面が表示されます。
- ⑥チェックしておくことにより、「新規登録」を選択した際の初期値に、登録済みバーコードフォントのデータを適用できます。
- ⑦登録済みのバーコードフォントの設定を変更できます。クリックすることにより図 1.6.3 バーコードフォント登録画面が表示されます。
- ⑧登録済みのバーコードフォントを削除します。

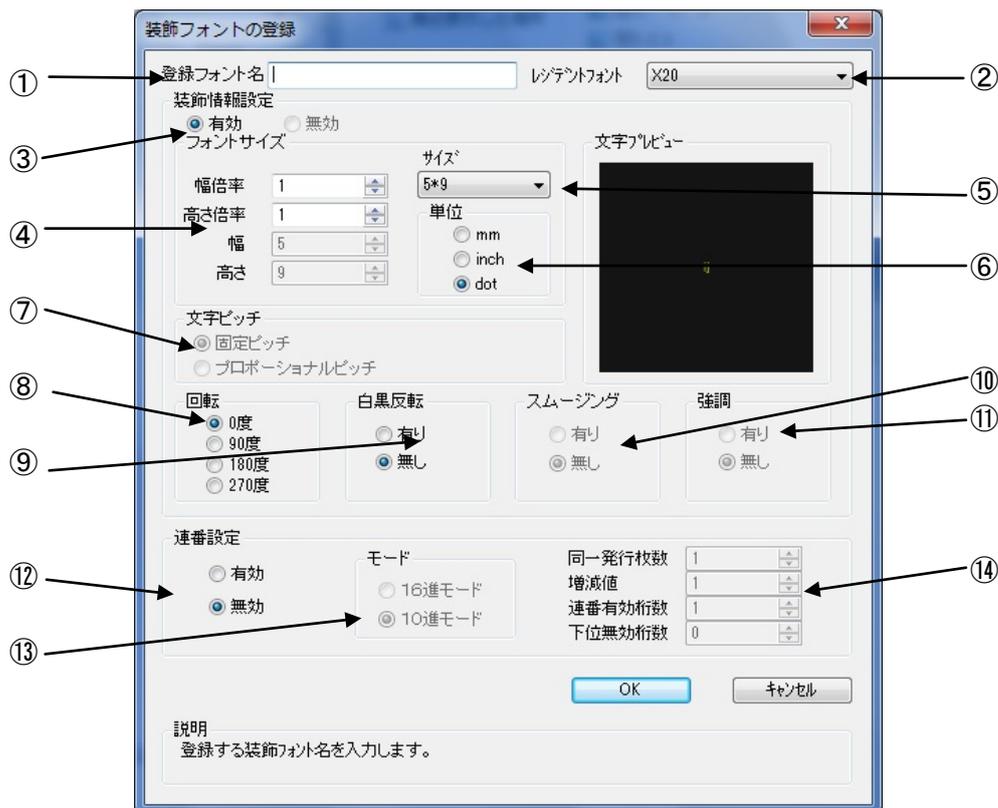


図 1.6.2 装飾フォント登録画面

- ①登録する装飾フォント名を設定します。
- ②レジデントフォントを選択します。
- ③装飾情報を有効にします。(連番設定の場合のみ無効に出来ます。)
- ④文字の幅、高さの倍率を指定します。(アウトラインフォントの場合は、サイズ指定になります。)
- ⑤フォントサイズを指定します。(漢字フォントの場合のみ選択可能です。)
- ⑥フォントサイズの単位を指定します。
- ⑦文字間ピッチの設定を行います。(フォントによって固定ピッチのみのものがあります。)
- ⑧フォントの印刷方向の指定を行います。
- ⑨白黒反転印字の設定を行います。
- ⑩スムージングの設定を行います。(フォントによって指定できないものがあります。)
- ⑪強調の設定を行います。(漢字フォントのみ指定可能です。)
- ⑫連番設定を行います。
- ⑬連番設定の増減値を10進数もしくは16進数に設定します。
- ⑭連番設定の増減値の設定を行います。

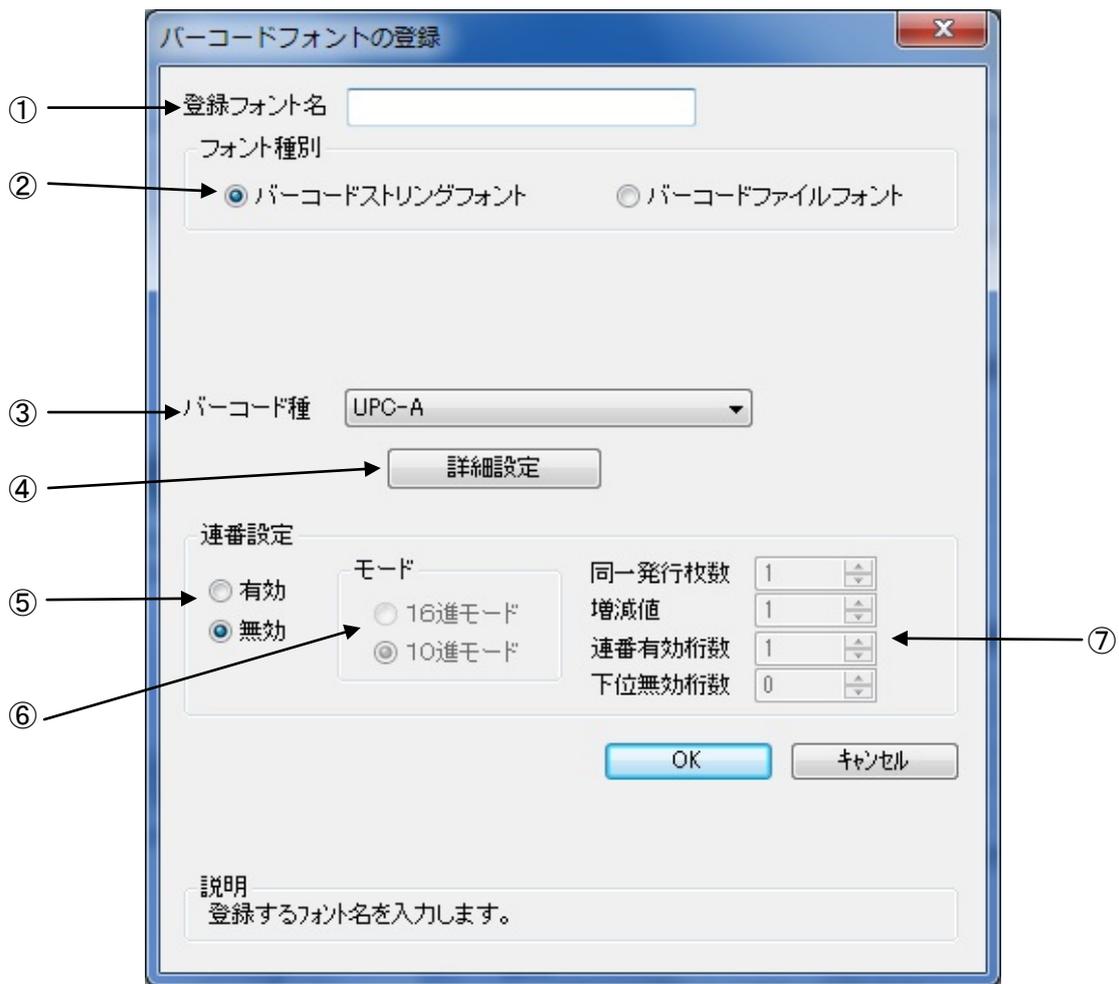


図 1.6.3 バーコードフォント

- ①登録するバーコードフォント名を設定します。
- ②ストリングフォントとして登録する、ファイルフォントとして登録する選択を行います。
- ③登録するバーコード種を選択します。
- ④バーコードの詳細を設定します。クリックすることにより、図 1.6.4 UPC-A 詳細設定画面が表示されます。(この画面は、③で選択したバーコード種に依存します)
- ⑤装飾フォント同様に連番機能を指定します
- ⑥、⑦については、補足説明 2 をご覧ください。

[補足説明 1]

ストリングフォントとファイルフォントの違いは、バーコードデータの指定方法にあります。ストリングフォントの場合、バーコードデータは直接ストリングフォントを利用するアプリケーションの書類上に入力してください。

例) 491234512345

下線部のフォント種をストリングフォントにしてください。ファイルフォントの場合、バーコードデータは別途作成したデータファイルに記述し、ファイルフォントを利用するアプリケーションの書類上にはそのデータファイルの絶対パス名を入力してください。

例) C:\¥aaa¥bar.dat

バーコードデータを記述した「bar.dat」というデータファイルをテキスト形式で作成し、下線部のフォント種をファイルフォントにして、Cドライブのaaaフォルダに入れてください。

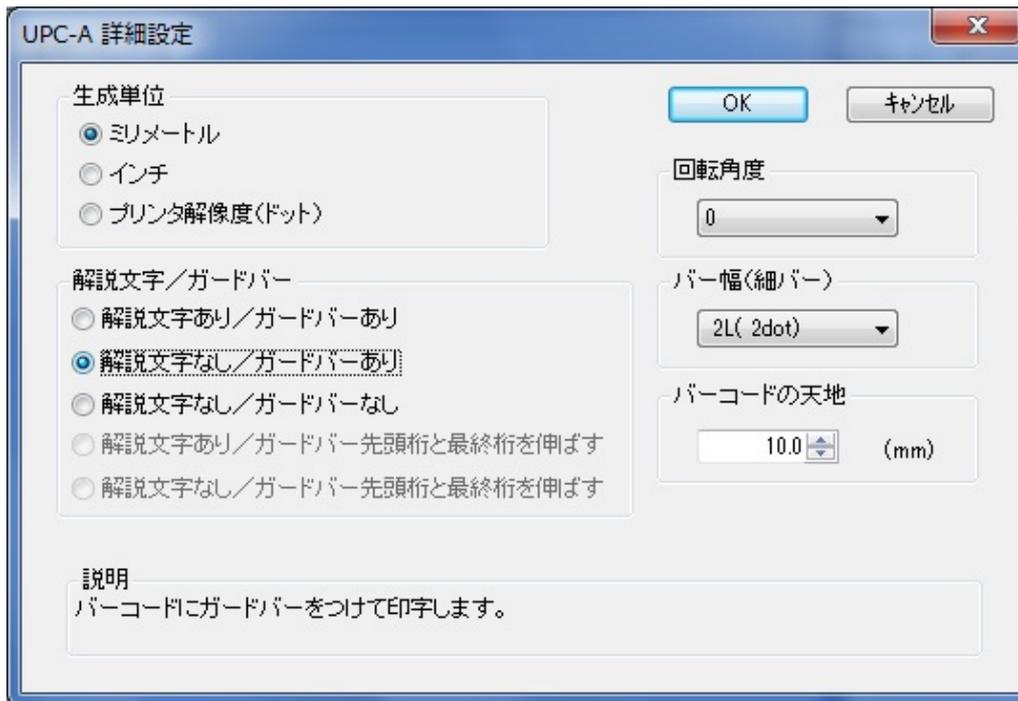


図 1.6.4 UPC-A 詳細設定画面

図 1.6.3 の③「バーコード種」で選択したバーコード、2次元コードに対応した詳細設定ダイアログが表示されます。以下に登録可能なバーコード、2次元コードの種類を示します。

- バーコード : UPC-A、UPC-E、JAN-8/EAN-8、JAN-13/EAN-13、CODE39、CODE93、  
CODE128 (128A、128B、128C)、GS1-128 (UCC/EAN128)、ITF、  
CODABAR (NW-7)、カスタマバーコード、合成シンボル
- 2次元コード : QRコード(モデル1)、QRコード(モデル2)、QRコード(マイクロQR)、PDF417  
MAXIコード、データマトリックス(ECC200)、マイクロPDF
- ※機種により対応しているバーコード、2次元コードが異なります。詳細は、ラパンシリーズ  
プログラミングガイドをご覧ください。

[補足説明 2]

連番設定

図 1.6.2. ⑫、図 1.6.3. ⑤の連番設定における各項目の内容を以下に示します。

- 有効・無効 : 連番設定を有効にするか無効にするか選択します。無効にするときは図 1.6.2. ③の装飾情報設定が有効になっている必要があります。
- 16 進モード・10 進モード : 連番の対象を 16 進数とみなすか 10 進数とみなすか設定します。
- 同一発行枚数 : 何枚発行する度に連番させるか設定します。
- 増減値 : 連番毎の加算値または減算値を設定します。
- 連番有効桁数 : 連番させる桁数を設定します。
- 下位無効桁数 : 連番させる最小桁以下の桁数を設定します。

例) モード : 16 進モード    同一発行枚数 : 2    増減値 : 5    連番有効桁数 : 2    下位無効桁数 : 3  
 印字データの初期値 : 00F8001 とした場合  
 連番有効桁は図 1.6.5 に示すようになります。

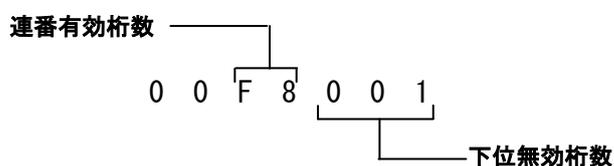


図 1.6.5 連番有効桁

連番動作は図 1.6.6 に示すようになります。

発行枚数	印字データ	
1 枚目	00F8001	} 同一発行枚数 2
2 枚目	00F8001	
3 枚目	00FD001	
4 枚目	00FD001	
5 枚目	0002001	
6 枚目	0002001	
7 枚目	0007001	
8 枚目	0007001	

図 1.6.6 連番動作

## 1.7. ユーティリティ

ここでは、プリンタドライバ設定情報の保存おこないます。

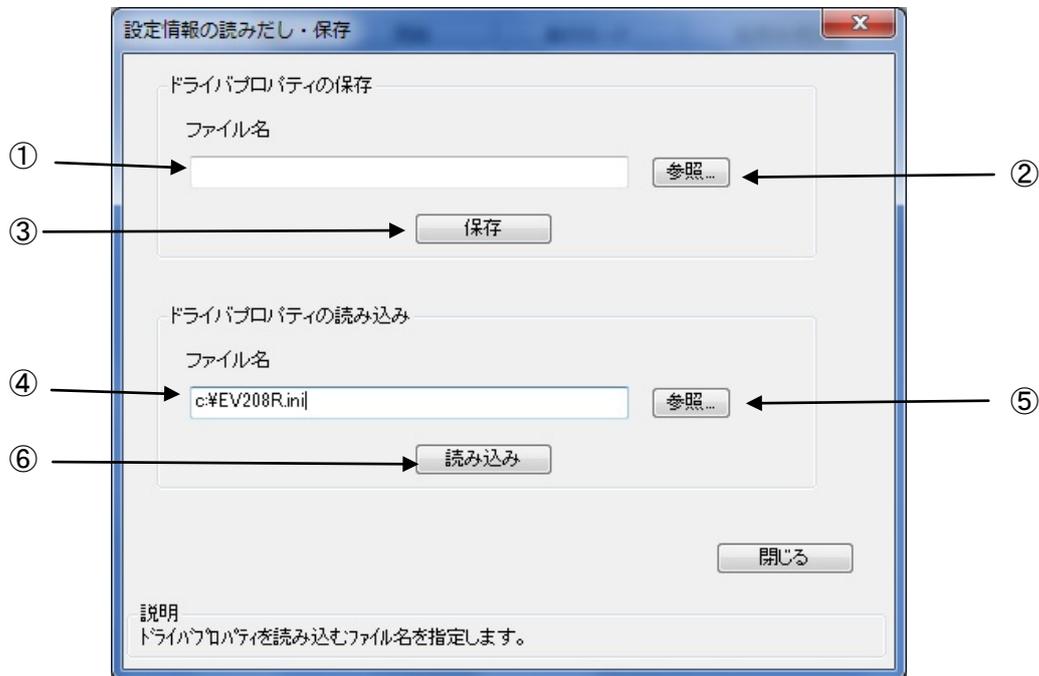


図 1.7.3.1 設定情報の読み出し・保存画面

- ① 保存を行う設定情報ファイル名を入力します。
- ② 保存を行うフォルダの参照を行います。
- ③ 指定したファイル名で設定情報を保存します。
- ④ 読み出しを行う設定情報ファイル名を入力します。
- ⑤ 読み出しを行うフォルダの参照を行います。
- ⑥ 指定したファイル名で設定情報ファイルの読み出しを行います。

## 1.8. TrueType フォント

「TrueType フォント名」にはプリンタに内蔵している TrueType フォントが表示されます。

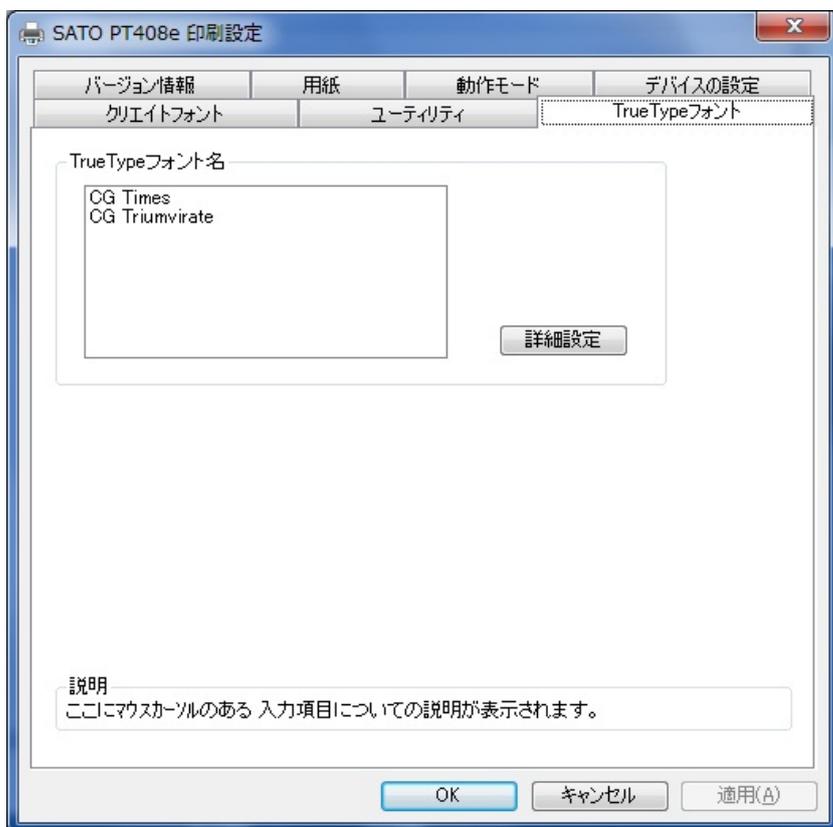


図 1.8.1. TrueType フォント画面

※プリンタ内蔵の TrueType フォントがコンピュータ側にもインストールされている必要があります。  
2 種の TrueType フォント「CG Times」および「CG Triumvirate」は、プリンタドライバ  
のインストール時にコンピュータにインストールされます。

図 1.8.1. 「TrueType フォント名」に表示されているフォントを選択し、「詳細設定」ボタンをクリックすることにより、図 1.8.2. 「TrueType フォント詳細設定」画面が表示されます。ここでは選択した TrueType フォントに対して以下の設定をおこなうことができます。

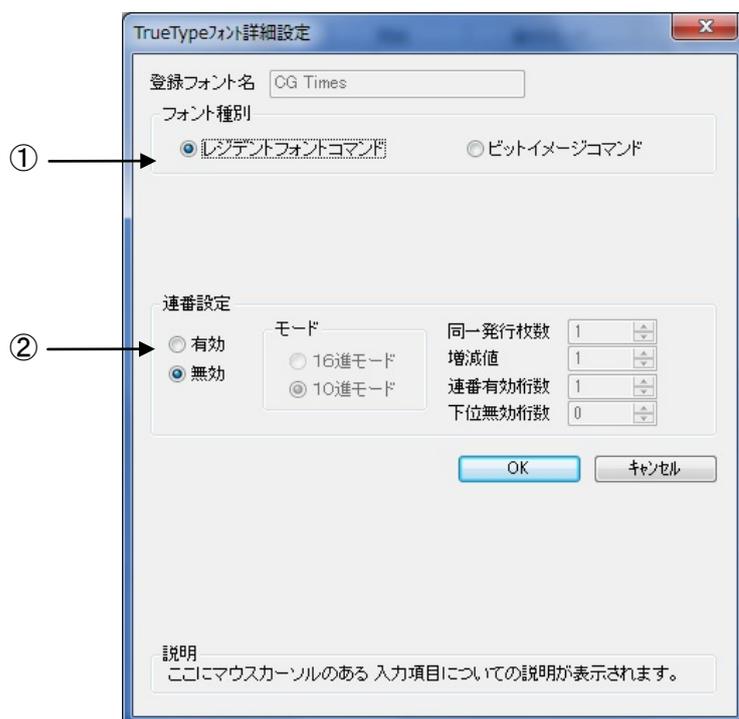


図 1.8.2. TrueType フォント詳細設定画面

- ①レジデントフォントコマンドとして出力するのかビットイメージコマンドとして出力するのかを指定します。
- ②選択した TrueType フォントに連番機能を設定することができます。この機能は「クリエイティブフォント」タブにおける「装飾フォント」の「連番設定」機能と同様です。「フォント種別」において「ビットイメージコマンド」を指定した場合には連番設定項目はマスク表示され設定不可になります。

## 1.9. サトー専用ポートの追加設定手順

「印刷先のポート」に「サトー専用ポート」を選択すると、各ポートに対して詳細な設定が可能となります。以下にサトー専用ポートの追加手順と各ポートの設定手順を示します。

### 1.9.1. サトー専用ポートの追加手順

図 1.9.1.1 に「ポート」画面を示します。

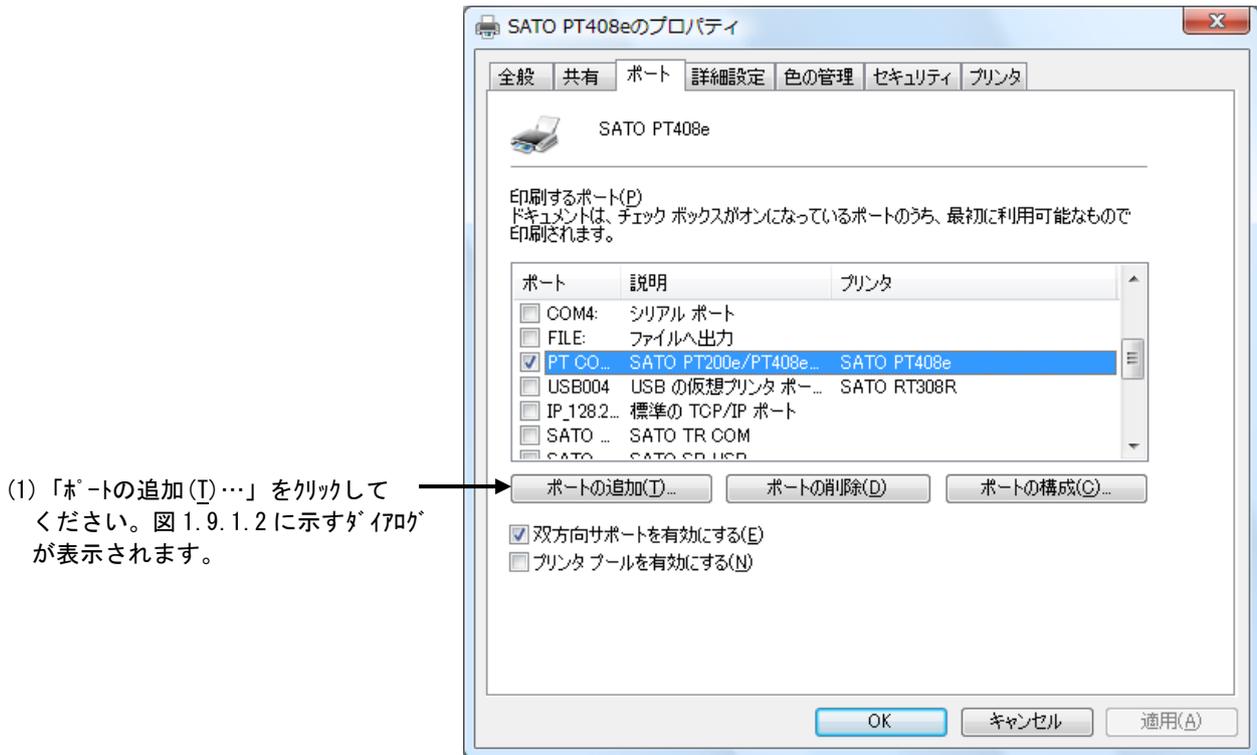


図 1.9.1.1. 「ポート」画面

(2) 「SATO PT … Port Monitor」の中から、ご使用になる接続先デバイスに対応したものを選択し「新しいポートの種類(N)…」ボタンをクリックしてください。

図 1.9.1.3～図 1.9.1.5 に示すように、追加するポートに対応したダイアログが表示されます。

接続先デバイスが COM ポートのとき選択してください。

接続先デバイスが LAN ポートのとき選択してください。

接続先デバイスが USB ポートのとき選択してください。



図 1.9.1.2. 「ポート追加」ダイアログ

### 注意事項

プチラパンならびに Windows x64 版 では、PT408e/412e の USB PortMonitor はありません。

## ①シリアル (SATO PT COM) ポート



図 1.9.1.3. 「SATO COM ポートの追加」 ダイアログ

## ②LAN (SATO PT LAN) ポート



図 1.9.1.4. 「SATO LAN ポートの追加」 ダイアログ

※ポート名は、他機種で使用していないポート名を指定する必要があります。  
同じポート名を使用した場合には、他機種のポートが選択される場合があります。

### ③USB (SATO PT USB) ポート

「USB インタフェースマニュアル」も参照してください。



(a)



(b)



(c)

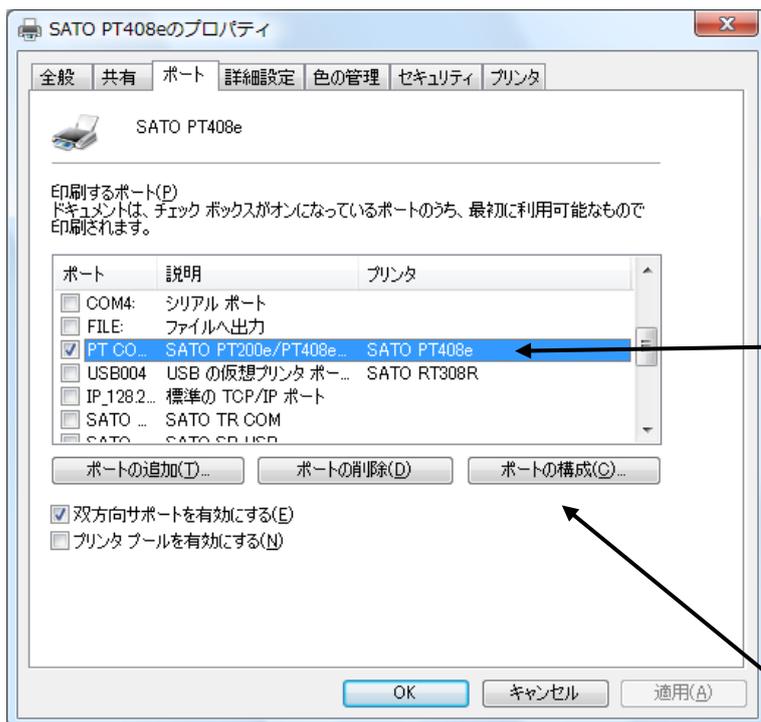
図 1.9.1.5. 「SATO USB ポートの追加」 ダイアログ

※ポート名は、他機種で使用していないポート名を指定する必要があります。

同じポート名を使用した場合には、他機種のポートが選択される場合があります。

## 1.9.2. サトー専用ポート設定手順

図 1.9.2.1 に「ポート」画面を示します。



(1) 設定を行うサトー専用ポートを選択してください。

(2) 「ポートの構成(C)...」をクリックしてください。図 1.9.2.2～図 1.9.2.4 に示すように(1)で選択したポートに対応したダイアログが表示されます。

図 1.9.2.1. 「ポート」画面

### ①シリアル (SATO PT COM) ポート

図 1.9.2.2 に「SATO COM ポートの設定」ダイアログを示します。

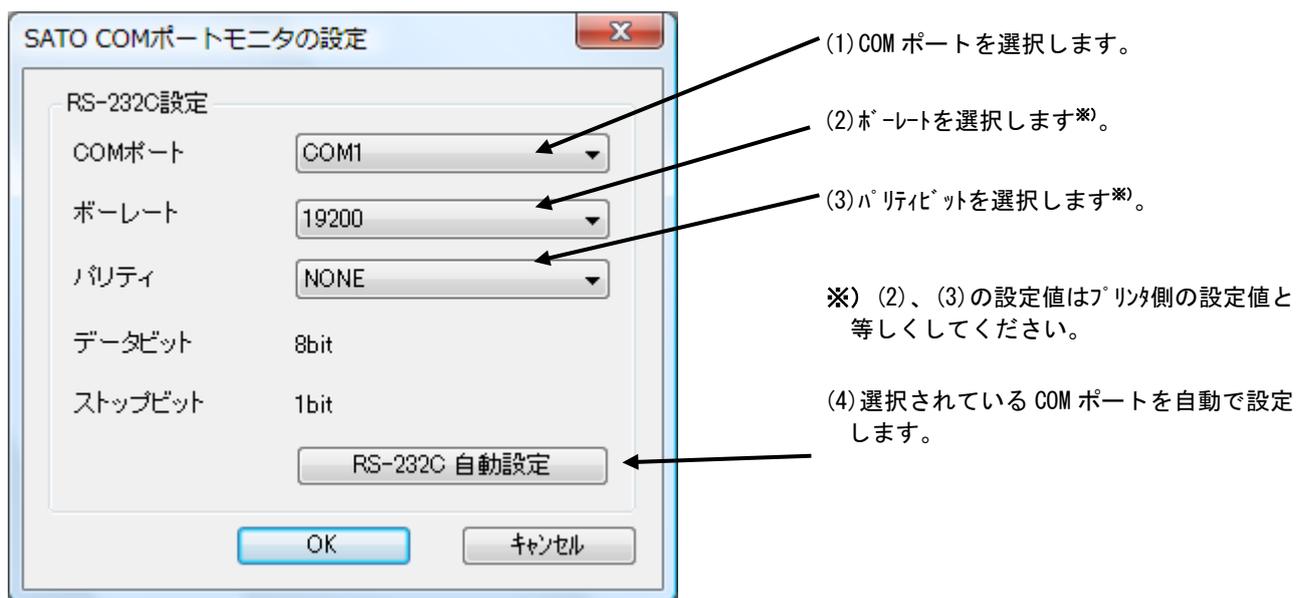


図 1.9.2.2. 「SATO COM ポートの設定」ダイアログ

### ②LAN (SATO PT LAN) ポート

図 1.9.2.3 に「SATO LAN ポートの設定」ダイアログを示します。

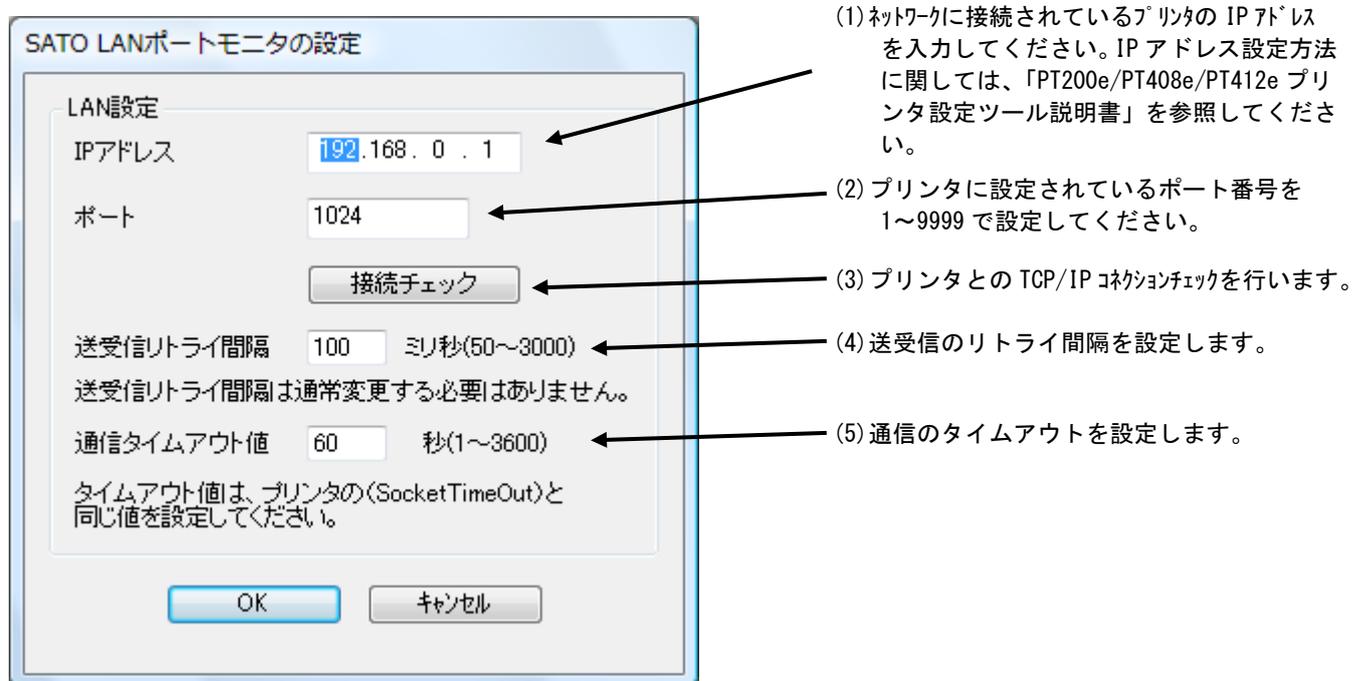


図 1.9.2.3. 「SATO LAN ポートの設定」ダイアログ

### ③USB (SATO PT USB) ポート

「USB インタフェースマニュアル」も参照してください。

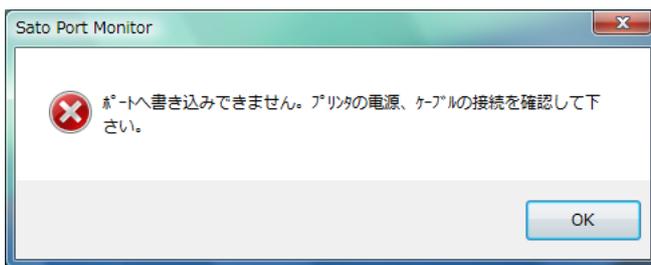
図 1.9.2.4 に「SATO USB ポートの設定」ダイアログを示します。



(1) ENQ 送信からステータス受信までの待ち時間を設定します。通常は変更する必要がありません。

(a)

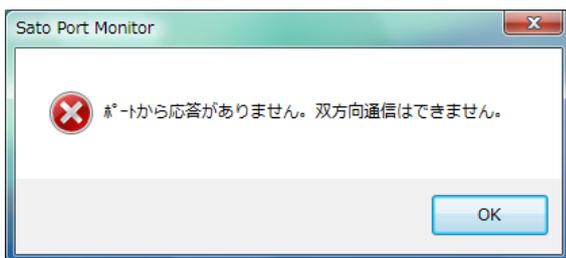
(2) プリンタと USB ポートとの接続状況を確認します。接続状況により図 1.9.2.4(b)～図 1.9.2.4(c) に示すダイアログが表示されます。



(b)

図 1.9.2.4(b) 画面のエラーの改善方法

- (1) プリンタの電源が入っているか確認してください。
- (2) USB ケーブルが接続しているか確認してください。



(c)

図 1.9.2.4(c) 画面のエラーの改善方法

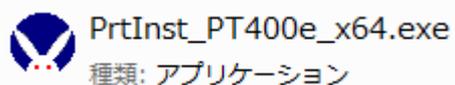
- (1) プリンタの電源が入っているか確認してください。
- (2) USB ケーブルが接続しているか確認してください。

図 1.9.2.4. 「SATO USB ポートの設定」ダイアログ

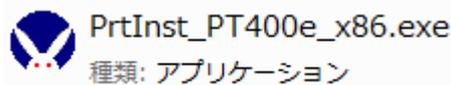
## 2. インストーラ／アンインストーラ起動手順

[SATO ダウンロード・サイト](#)より、ラパン・プチラパンのプリンタドライバをダウンロードした後（ダウンロードしたファイルが圧縮ファイルであった場合は解凍した後）、以下に示すファイルをダブルクリックしてください。インストーラ／アンインストーラが起動しますので、「2.3 プリンタドライバのインストール方法選択画面」へ進んでください。

i) 64 ビット OS の場合



ii) 32 ビット OS の場合



なお、アクセサリ CD をご使用になる場合は、以下手順（「2.1. プリンタメニュー画面」、「2.2. プリンタドライバ画面」）をご参照ください。

### 2.1. プリンタメニュー画面



図 2.1 プリンタメニュー画面

「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットしてください。自動的<sup>※1</sup>に図 2.1 に示す画面が表示されますので、「プリンタドライバ」をクリックします。

※1 図 2.1 の画面が自動的に表示されない場合は、アクセサリ CD-ROM 内の「AccInstall.exe」をダブルクリックしてください。

## 2.2. プリンタドライバ画面



図 2.2 プリンタドライバ画面

「図 2.2 プリンタドライバ画面」の「MODEL」で「ラパンシリーズ」を選択し、

「インストール」をクリックすると、「3. インストール手順」

「アンインストール」をクリックすると、「4. アンインストール手順」

に進みます。

## 2.3. プリンタドライバのインストール方法選択画面

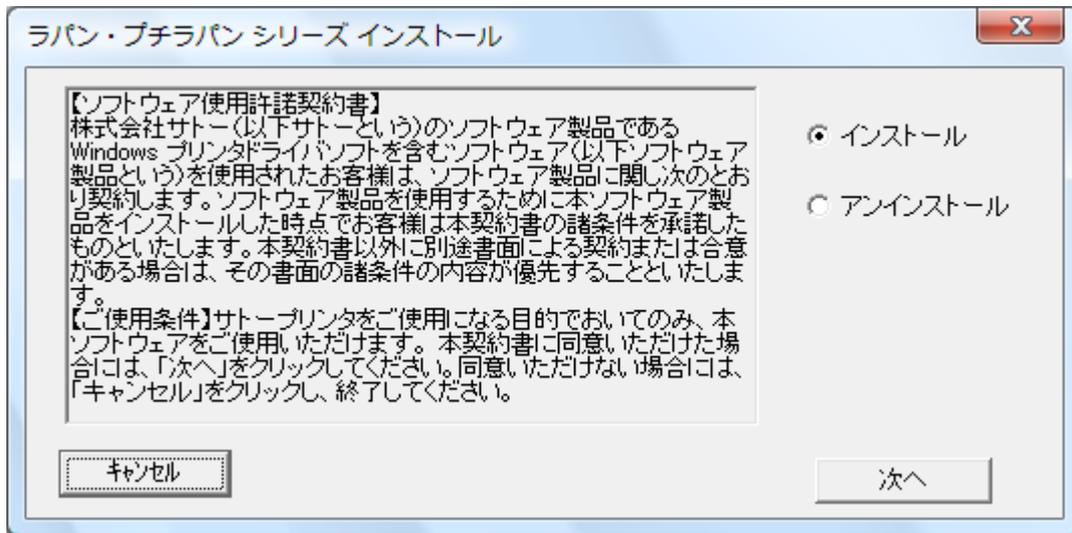


図 2.3 プリンタドライバのインストール方法選択画面

「2.2 プリンタドライバ画面」で MODEL の「ラパンシリーズ」をダブルクリックすることにより、本画面が表示されます。

- 「次へ」 「インストール」選択時は、「3. インストール手順」へ進みます。  
「アンインストール」選択時は、「4. アンインストール手順」へ進みます。
- 「キャンセル」 処理を中止し、本画面を閉じます。

### 3. インストール手順

#### 3.1. プリンタドライバ インストール画面

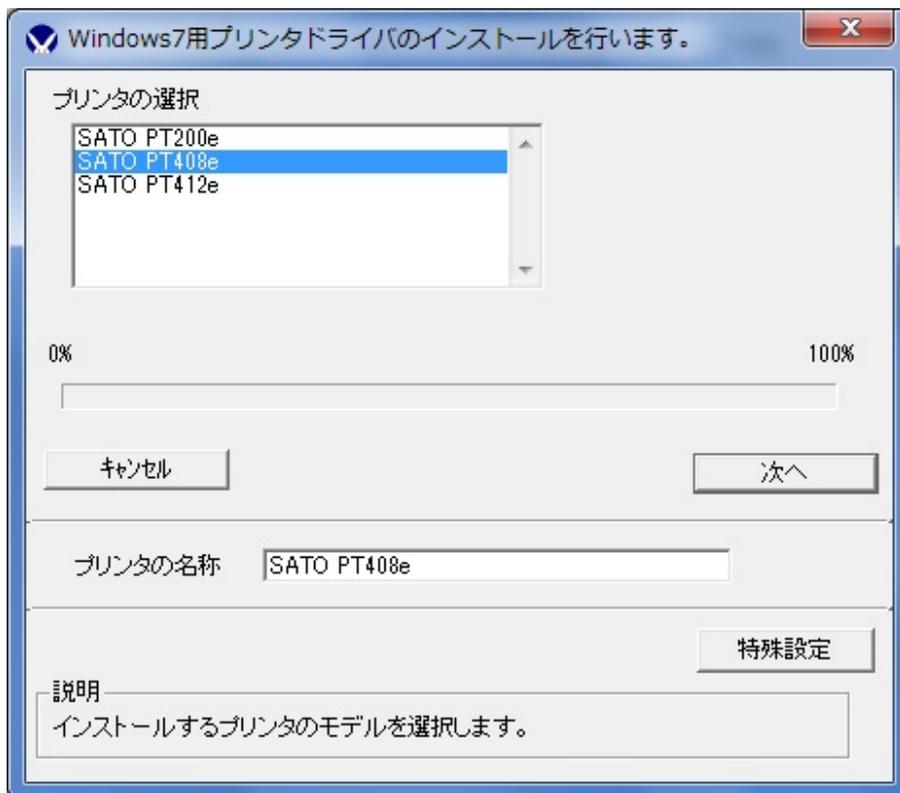


図 3.1.1 プリンタドライバ インストール画面

「プリンタの選択」でインストールするプリンタを選択し、「プリンタの名称」にプリンタ名称を入力してください。「次へ」をクリックするとインストール処理を開始します。

「次へ」をクリックすると、Windows XP/Server2003/Vista/Server2008 では「図 3.1.2 セキュリティ警告画面」が表示されますので、「このドライバソフトウェアをインストールします(I)」を選択してください。(OS によって表示されるメッセージ内容が異なります。インストール継続を選択してください。)

プリンタを選択した時点で「プリンタの名称」に選択したプリンタの名称がコピー表示されます。本画面での他の機能については以下の通りです。

「特殊設定」

インストールの条件を指定します。詳細は「3.5 特殊設定画面」を参照してください。

「バージョン表示」

タイトルバー上でマウスを右クリックしてバージョンを表示することができます。

- ※ 「次へ」をクリックするとインストール処理を開始しますが、Vista の場合 OS の動作状況により、「3.2 接続先ポート指定画面」への移行に時間がかかる場合があります。

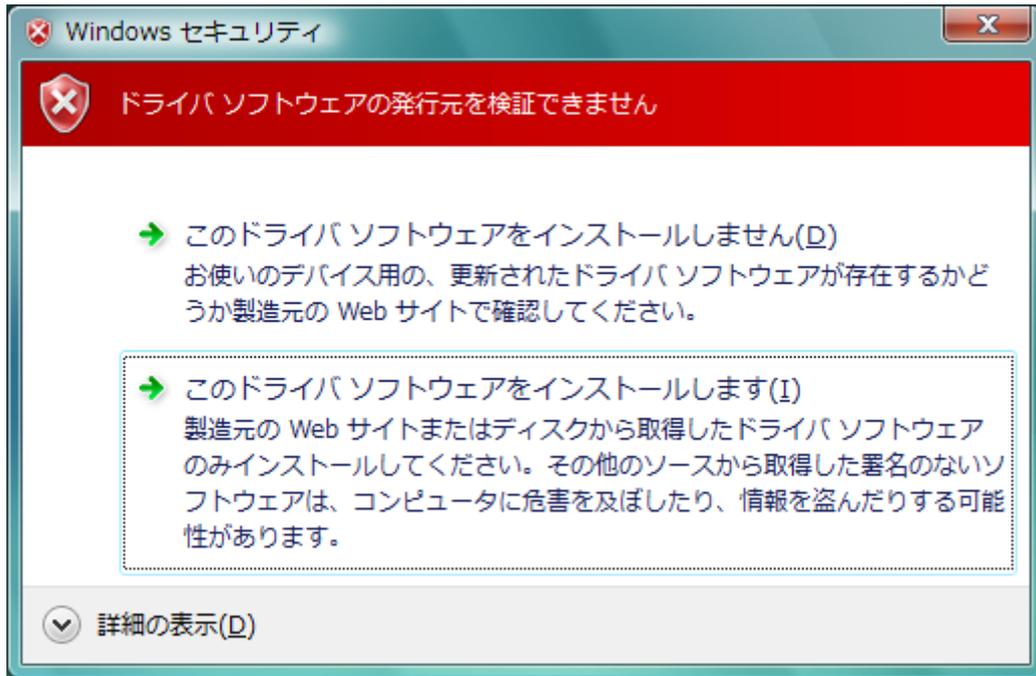


図 3.1.2 セキュリティ警告画面

### 3.2. 接続先ポート選択画面

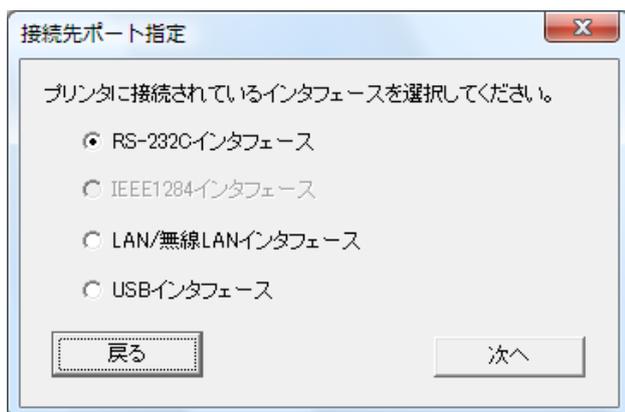


図 3.2.1 PT408e/PT412e 接続先ポート指定画面

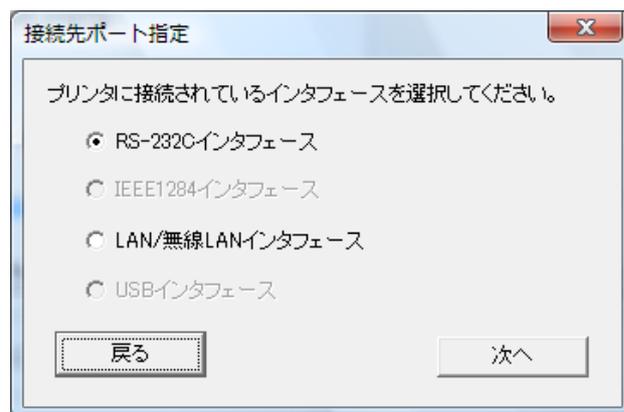


図 3.2.2 PT208e 接続先ポート指定画面

プリンタに接続されているインタフェースを選択し、「次へ」をクリックすると

- ・「RS-232C インタフェース」選択の場合 「3.3.1 シリアルポート選択画面」
- ・「LAN/無線LAN インタフェース」選択の場合 「3.3.3 SATO LAN ポート登録画面」
- ・「USB インタフェース」選択の場合 「3.3.4 SATO USB ポート登録画面」

へ進みます。

「戻る」をクリックすると「3.1.1 プリンタドライバ インストール画面」へ戻ります。

※64bit OS では、PT408e/412e の USB インタフェースは選択できません。

### 3.3. ポート選択画面

#### 3.3.1. シリアルポート選択画面

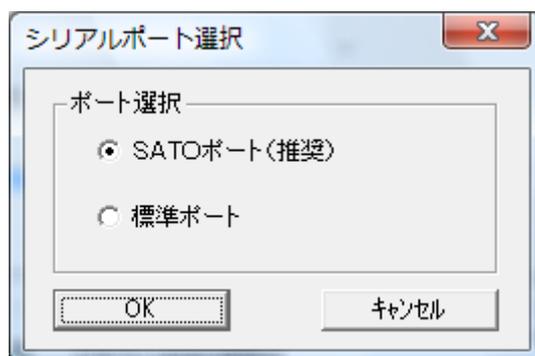


図 3.3.1 シリアルポート選択画面

シリアルポートを「SATO ポート（推奨）」、「標準ポート」のいずれかを選択し、「OK」をクリックします。「SATO ポート（推奨）」を選択した場合は「3.3.2 SATO COM ポート登録画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると「3.1.1 プリンタドライバインストール画面」へ戻ります。

ここでは「SATO ポート（推奨）」を選択してください。

#### 3.3.2. SATO COM ポート選択画面

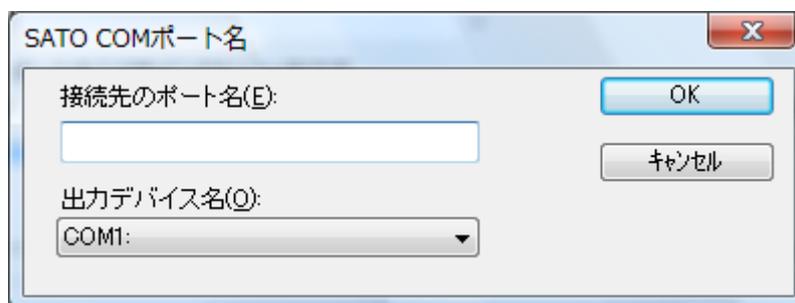
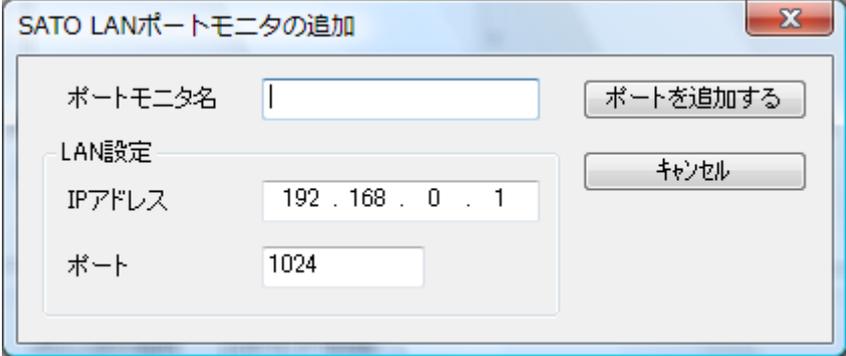


図 3.3.2 SATO COM ポート登録画面

「接続先のポート名」に登録する COM ポート名を入力して、「OK」をクリックしてください。「OK」をクリック後、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると、「3.1.1 プリンタドライバインストール画面」へ戻ります。

### 3.3.3. SATO LAN ポート登録画面



The image shows a Windows-style dialog box titled "SATO LANポートモニタの追加". It contains the following fields and buttons:

- ポートモニタ名**: A text input field with a vertical bar cursor.
- LAN設定**: A section containing:
  - IPアドレス**: A text input field with the value "192 . 168 . 0 . 1".
  - ポート**: A text input field with the value "1024".
- ポートを追加する**: A button located to the right of the "ポートモニタ名" field.
- キャンセル**: A button located to the right of the "LAN設定" section.

図 3.3.3 SATO LAN ポート登録画面

印刷対象の「IP アドレス」、「ポート」を入力して、「ポートモニタ名」に登録する LAN ポート名を入力してください。「OK」をクリックすると SATO LAN ポートを登録して、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると、「3.1.1 プリンタドライバインストール画面」へ戻ります。

### 3.3.4. SATO USB ポート登録画面

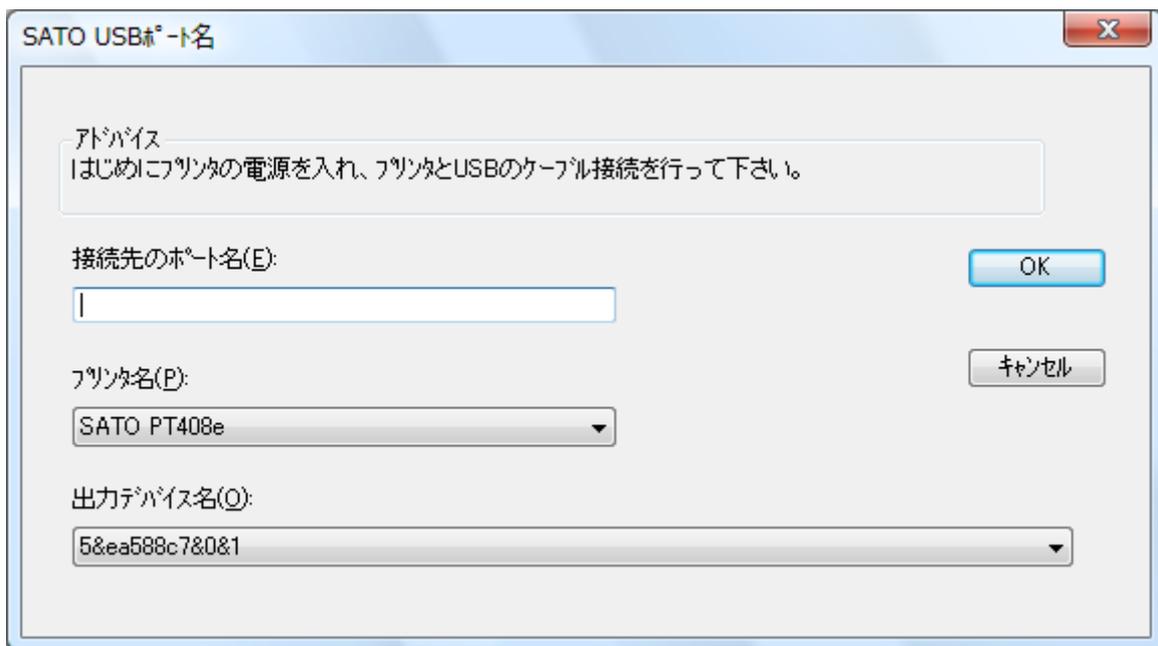


図 3.3.4 SATO USB ポート登録画面

「接続先のポート名」に登録する USB ポート名を入力して、「OK」をクリックしてください。「OK」をクリック後、インストール処理を再開し、「3.4 インストールの終了画面」へ進みます。

「キャンセル」をクリックすると、「3.1.1 プリンタドライバインストール画面」へ戻ります。

※64bit OS では、PT408e/412e の USB インタフェースは選択できません。

### 3.4. インストールの終了画面

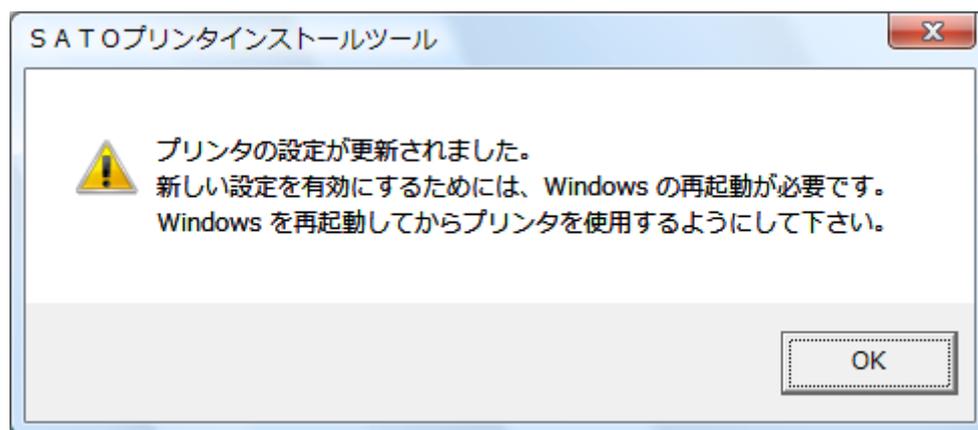


図 3.4 インストールの終了画面

インストールの処理を終了すると、本画面が表示されます。「OK」をクリックして処理を終了させてください。

### 3.5. 特殊設定画面

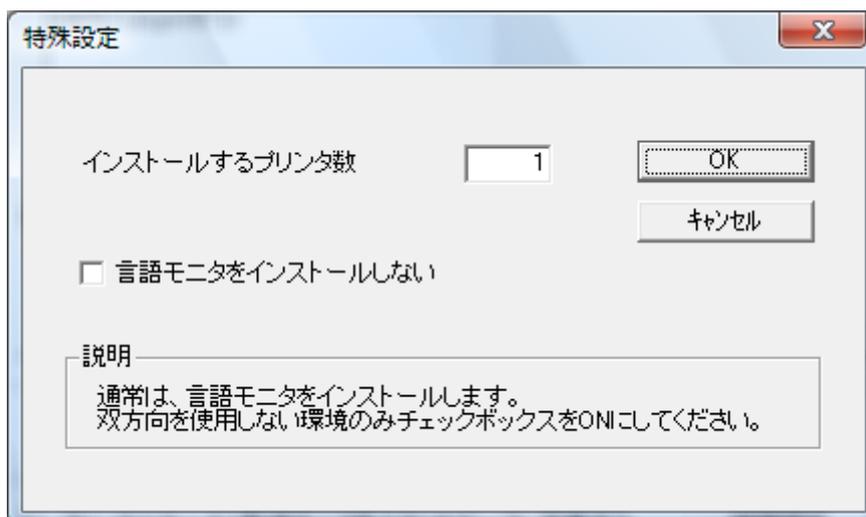


図 3.5 特殊設定画面

「3.1.1 プリンタドライバ インストール画面」で「特殊設定」をクリックすると表示される画面です。

#### 「インストールするプリンタ数」

インストールするプリンタ数を入力します。

指定範囲は 1~100 です。

初期値は 1 となっていますが、ここで複数のプリンタ数を指定すると、インストールされるプリンタ名は、

SATO PT408e\_001、SATO PT408e\_002、. . . . .

と、入力されたプリンタ名に、自動でシーケンス番号を付加して登録します。

#### 「言語モニタをインストールしない」

通常は双方向通信を行なうため、チェックボックスを OFF のままとしてください。

双方向通信を使用しない環境の場合のみ、チェックボックスを ON としてください。

## 4. アンインストール手順

### 4.1. アンインストール画面

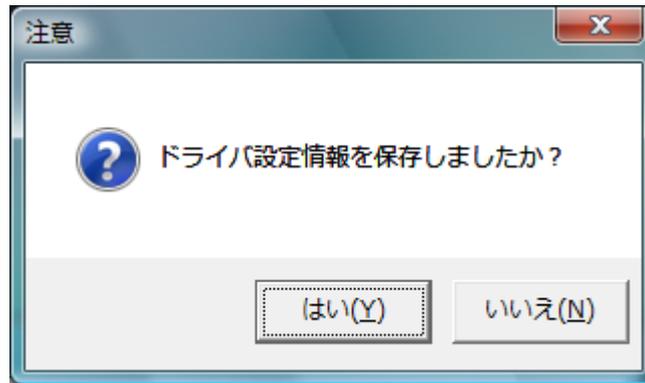


図 4.1 アンインストール ドライブ設定情報保存確認画面

アンインストール起動直後に図 4.1 が表示されます。既にドライブ設定情報を保存しているならば「はい(Y)」をクリックしてください。ドライブ情報を保存していないならば「いいえ(N)」をクリックして、アンインストール作業を中止させてください。

ドライブ情報を保存せずにアンインストールを実行すると、ドライブ使用時に独自に追加した「用紙」や「クリエイティブフォント」に関する設定情報も同時に削除されてしまいます。ドライブを再インストールした際に、これらの設定を復元するためには、ドライブ設定情報を保存しておく必要があります。

ドライブ情報の保存方法については「1.7. ユーティリティ」を参照してください。

## 4.2. アンインストール プリンタ選択画面

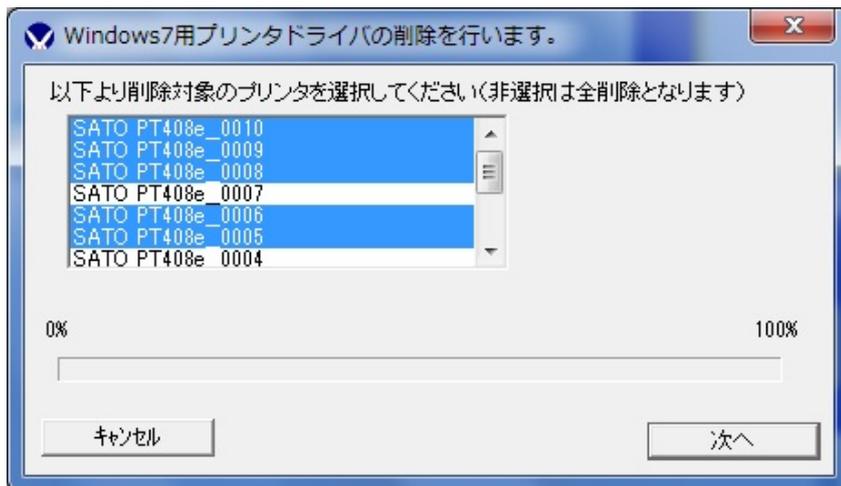


図 4.2 アンインストール プリンタ選択画面

表示されているプリンター一覧より、アンインストールしたいプリンタを選択します（1 台も選択しない場合は全プリンタがアンインストール対象となります）。

「次へ」をクリックするとアンインストール処理が開始されます。

「キャンセル」をクリックすると作業を中止します。

注 1 インストール処理が途中で失敗した場合、アンインストールではなくプリンタプロパティ上でプリンタ削除を行なった場合、インストールされたファイルがシステムフォルダに残ったり、レジストリに情報が残ったままとなります。その場合、プリンター一覧にプリンタ名が表示されないことがあります。 「次へ」をクリックし、アンインストール処理を行なうことによりインストールされたシステムファイルを削除することができます。

注 2 複数のプリンタが表示された場合、全てのプリンタを削除しなければ、インストールされたプリンタドライバ関連のファイルは削除されません（その際はプリンタ名の削除のみとなります）。  
プリンタドライバ関連のファイルは、対象となるプリンタ全てを削除した場合に、完全に削除します。

#### 4.3. アンインストール 終了画面

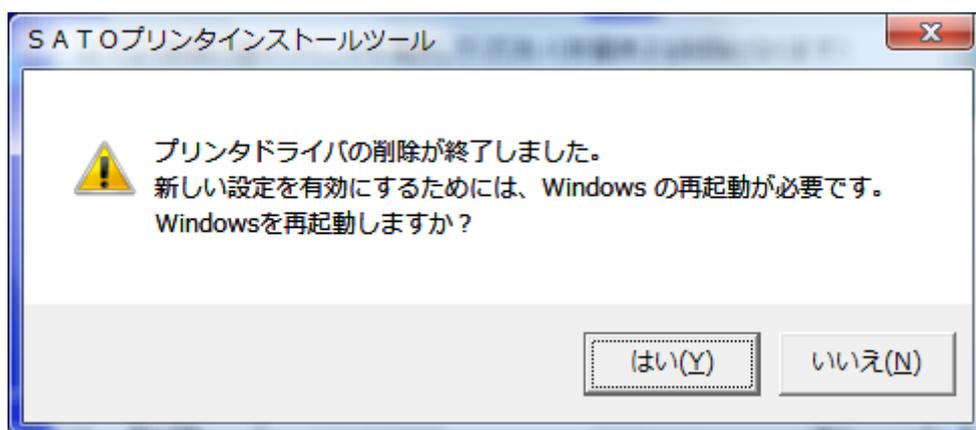


図 4.3 アンインストール終了画面

アンインストール処理が終了すると図 4.3 の画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックして Windows を再起動させてください。これでプリンタドライバのアンインストール作業は終了です。

「いいえ(N)」を選択した場合には、手動で Windows を再起動させてください。

## 5. 注意事項

### 5.1. インストール起動時のエラーメッセージ

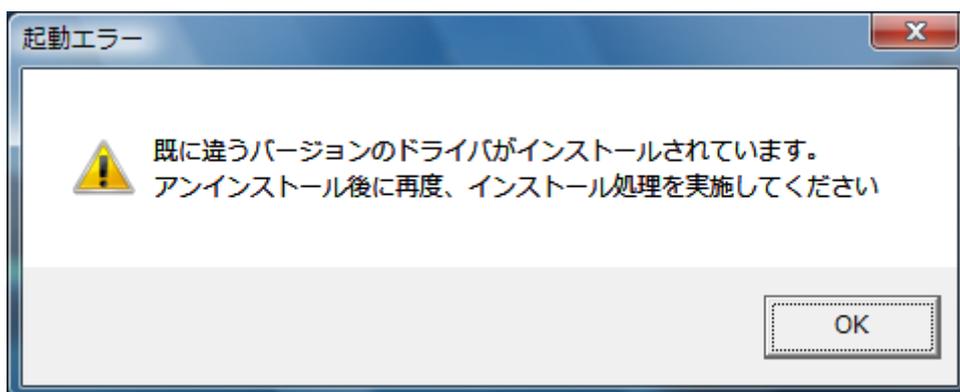


図 5.1 起動エラーメッセージ

インストール起動時に、図 5.1 のメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、既に違うバージョンのドライバがインストールされている場合に表示されます。

アンインストール実施後に再度、インストールを行なってください。

注 1 プリンタドライバのインストールでは、インストール先のシステムフォルダに、既に同名のファイルが存在する場合、上書きコピーを行なえません。従って、図 5.1 のメッセージが表示された場合は、必ずアンインストール処理を行なってください。

注 2 インストールが途中で失敗した場合、アンインストールを行わずにプリンタを削除した場合に、システムフォルダにプリンタドライバ関連のファイルが残ってしまい、図 5.1 のメッセージが表示される場合があります。その際はアンインストールを実施後、再度インストールを行なってください。

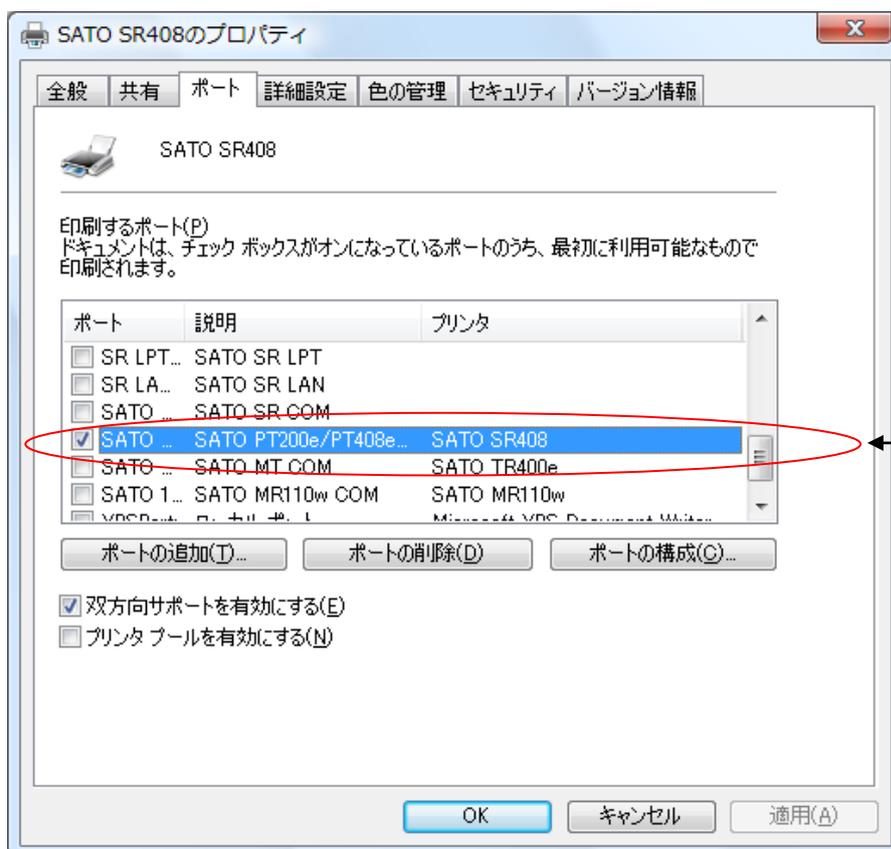
(そのようなケースの場合、アンインストール画面にプリンタ名が表示されない場合があります。「4.2 アンインストール プリンタ選択画面」注 1 を参照してください。)

## 5.2. アンインストール時のポート共有メッセージ



図 5.2.1 ポート共有メッセージ

アンインストールするプリンタの接続ポートを、他のプリンタでも使用している場合、「図 5.2.1 ポート共有メッセージ」が表示されます。このメッセージが表示された場合は「図 5.2.2 ポートモニタの画面」を開き、ポートの共有を外してからアンインストールを行なってください。



例では、PT408e の COM ポートを SR408 が共有していますので、SR408 プリンタドライバから、この画面を開き、違うポートを選択させます。

図 5.2.2 ポートモニタの画面